

第3回 幼稚園再編に係る地域協議会(生駒台幼稚園)

日 時： 令和3年5月18日(火)

午後3時から

場 所： 生駒台幼稚園リズム室

次 第

- 1 こども園(南こども園)について
- 2 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する追加意見の共有について
- 3 原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について

配布資料

【資料1】 こども園について

【資料2】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して
提出された追加意見

【資料3】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する
意見を踏まえた課題と考えられる対応



こども園の1日

資料1



【3歳未満児クラス】 (3号認定児)

【3歳以上児クラス】

時間	月～金曜日	時間	土曜日
7:00	随時登園		
		7:30	随時登園
8:30	年齢別保育	8:30	3歳未満児クラス 合同保育
9:30	おやつ 遊び	9:30	おやつ 遊び
11:30	食事 昼寝	11:30	食事 昼寝
15:00	おやつ 随時降園	15:00	おやつ 随時降園
		18:00	保育終了
19:30	保育終了		

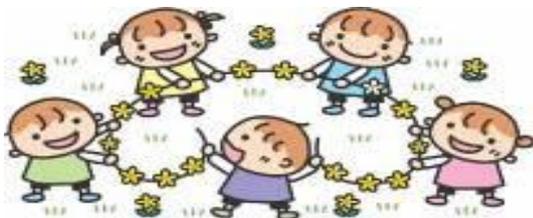
時間	1号認定児		2号認定児	
	月～金曜日	月～金曜日	月～金曜日	土曜日
7:00	随時登園 合同保育			
7:30		預かり保育	随時登園	
8:45	登園	学年別保育	3歳以上児クラス 合同保育	
9:00			遊び	
12:00	食事		食事	
13:00	遊び	昼寝	昼寝	
14:00	降園 預かり保育			
14:30		おやつ 遊び 随時降園	おやつ 遊び 随時降園	
15:00				(昼寝)
17:00	随時降園	随時降園	随時降園	
18:00				保育終了
18:30	保育終了			
19:30		保育終了		

1号認定児は、水曜日は半日保育(11:30まで)になります。
11:30以降、預かり保育が実施されます。

※1号認定児…満3歳以上の未就学児(2号認定除く)

※2号認定児…満3歳以上で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども

※3号認定児…満3歳未満で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども



「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された追加意見**①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること**

生駒台幼稚園周辺に駐車場を別に設置してはどうか。

現在も問題になっている駐車については、駐車場や通園バスの案をまず示し、不安を解消すべき。

俵口からの通園には範囲が広すぎるのでは。生駒台幼稚園への通園バスに無理がある。保護者の送迎にも無理があるのでは。

意見交換会でもでている様に、住宅地にある生駒台幼稚園の車での送迎は禁止されているが、トラブルが危惧される。

車の通行を極力減らすために、通園バスをできるだけ増便して対応していただきたい。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること

制服制帽は新学校の負担にせよ。異動する子どもの親負担は避けて欲しい。

生駒台幼稚園の周辺には住宅があり、問題がありすぎる。俵口から通う園児が小学校に通うときに問題はないのか。

2園統合となれば当初は戸惑うことが多いだろうが、その都度話し合いなどで解決するしかないだろう。

小学校の参観日・懇談日は、俵口校区の人は生駒台で園児を迎えに行ってから俵口小へ向かうのはかなり負担になると思う。そんな時は延長保育等で対応できたら安心ではないか。

③幼稚園と地域との関係に関すること

俵口地域の方々の意見を出来るだけ配慮すべし。

地域のあり方は年代が変わると変化するものである。柔軟に対応していくしかない。

生駒台校区は幼稚園から中学校まで12年間同じメンバーですので、俵口校区の子どもと交わるのも良い経験になると思います。

④跡地の利活用に関すること

市教育委員会の考え方に同意。

場所がわからないので回答できない。

学童保育、公民館、自治会館など柔軟に利用できたら良いと思います。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

不利益やデメリットを解消する対応が大切。

幼稚園の免許と保育士の資格が違い、両方を取得する人材の確保が問題となる中、支援を必要とする児童の保育者も確保となると大丈夫なのか疑問。

統合するのであれば、人員の確保を。

幼稚園の数を減らすので、加配の先生を増やして対応したら良いと思います。

その他意見

子どもの減少や諸事情を考えると、協議会での議論は重要だと考えます。お願いしたいのは、結論ありきの議論ではなく、子育て世代や地域の方の想いに寄り添って少しでも乖離を小さくした結論を出していただきたいと思います。

地域環境の事情に精通している方々（民生委員や個人）の意見を尊重してはどうか。

幼稚園の再編は、待機児童解消というよりは、子どもの少ない幼稚園を統合していくことを目的としている。子どもを増やそうとする国に対して、今は少ないからと減らすと、将来増やせるのか。

保育園と幼稚園の良いところが混ざり合っって幼児期から色々な家庭環境の子ども同士で触れ合えば、イジメなども改善されると思うし、自分で考えて行動する力も身につくと思う。

保育ニーズの高まりがある反面、市立の園児数減少傾向で、集団教育の意義にそわなくなり、校舎老朽化や教師の配置など教育環境に問題が生じつつある現在、子ども達の人材育成により良い環境を与えるには、こども園化や再編はやむを得ないことだと思う。

駐車場の確保、地域別登降園時間の設定などで子ども達の安全確保を第1に。市の連携は必須であるが、幼小または小同士の連携を密にし、保護者の教育や生活に関する諸々の不安解決に努めつつ、共に対処改善していくことが大切であると思う。

賛成です。時代の流れに応じて進めるべきと思います。

統合子ども園という同時の考え方には非常に無理があるように思います。まずは各園でこども園化して、それでも園児が少ないようなら統合を考えてはどうか。

現在の少子化、園児数を考慮すれば統合はやむを得ないと思うが、地域・保護者の意思を十分に聞いて欲しい。

幼稚園のクラス数が減り、保育ニーズが高まり、こども園化もやむをえないと思います。しかしながら、通行規制のある住宅街に、しかも駐車スペースがない場所に、通園の車が増えるのは住民としては不安しかありません。登校する小学生を守るための朝の通行規制のほすなのに、その時間帯に車の通行料を増やすなんて理解しがたいです。駐車スペースはどこにするのでしょうか、小学校内は危険だと思います。車通園不可の条件を検討していただきたいです。駐車場の確保ができていない状況でこども園化の議論は難しいと感じています。まずは幼稚園の統合をし、駐車場や通園の車の問題を解決してからこども園化を実現してほしいです。

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること		
具体的な課題		考えられる対応
(1)通園バスの利用料について	バスに乗る必要が生じる場合の負担について、対応が必要である。減額や無償化を検討してほしい。	
(2)通園バスのルートについて	バスの待機場所をどうするのか。	安全の確保ができる場所へのバス停の設置。
	バスのルートはどのようになるか。	両園のバス利用希望者をカバーするような広範囲のバス運用。
(3)駐車・駐輪スペースの確保について	園周辺は住宅地である。どこに駐車場を確保するのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・通行規制も考慮し、交通安全や近隣住民に迷惑を及ぼさないよう検討が必要。 ・店舗の駐車場を借りれないか。（ご意見から）
(4)交通安全や通行規制について	道が狭く、小学校もある。車通園不可にしてほしい。	警備員の配置（ご意見から）
	ゾーン30の導入。	自治会、警察、奈良交通との調整
(5)遠方からの通園者の負担について	遠方からの人に時間的な配慮を。	自家用車での送迎を許可してはどうか。（ご意見から）

生駒台幼稚園再編に係る地域協議会への意見書

NPO 法人 市民の輪いこま
 理事長 高比良啓子
 事務局 生駒市俵口町 987-12

<はじめに>

4月30日付けで当NPOより俵口幼稚園再編に係る地域協議会に対して意見書を提出させていただいたところ、同地域協議会で本意見書を紹介していただきました。今後この意見書も含めて同地域協議会では俵口幼稚園の今後について協議されることと推察します。しかし生駒市教育委員会より出されている方向としては、俵口幼稚園と生駒台幼稚園を統合してこども園化するというものですので、単に俵口幼稚園に対してだけではなく、統合のもう一方の生駒台幼稚園の地域協議会でもこの考えを共有していただき、一体として今後のあり方を協議していただく必要があると考えました。

そこで当NPOより俵口幼稚園の今後のあり方の提案を踏まえたうえで、生駒台幼稚園の今後についての意見を提出させていただきます。私達は、俵口幼稚園は今後の小規模化を予測すれば、廃園統合ではなく、こども園化が最も望ましいと考えます。その理由は下記に述べますが、同じ理由から生駒台幼稚園も統合の道ではなく、単独の幼稚園か又はこども園化が望ましいと考えます。その意味からも私達の意見を聞いていただきますようお願い致します。

<意見> **生駒台幼稚園の今後についての私達の提案**

A.教育委員会の見解(主な点)は次の通りです。

- (1)望ましい規模・・・①1学級当り20～30人 ②1学年2クラス以上、1園6クラス以上
- (2)望ましい規模ではない幼稚園の対策・・・①統廃合 ②こども園化
- (3)対策を講じる幼稚園・・・俵口幼稚園の廃園と生駒台幼稚園への統合及びこども園化、なばた幼稚園の廃園と壱分幼稚園への統合及びこども園化

B.これに対して私達は次の様に考えます。

- (1)教育委員会の考えの問題は次の点です。
 - ①廃園の問題点・・・同じ小学校区内に通えず、他の小学校区へ通うことの不具合。
 - ②統合の問題点・・・1園の人数が多くなりすぎる。(令和6年度予測 俵口幼66+生駒台幼102=168。こども園にすると保育園児が加わり大幅に人数が増える。)
 - ③こども園化の問題点・・・幼保による在園時間の違いから起こる不具合。
- (2)「望ましい形」について私達はこう考えます。
 - ①望ましい規模・・・幼稚園での①少人数学級の実現 ②1園理想100人以下、適正規模150人以下。
 - ②望ましい立地・・・小学校区の中に就学前教育保育施設があること。
 - ③待機児童の解消・・・この地域での保育所待機児童を解消できること。
- (3)そこで「望ましい形」にするための方策を提案します。

生駒台幼稚園は俵口幼稚園との統合はせず、次の2案を検討する。

A案・・・これまで通り幼稚園として存続する。

B案・・・こども園にする。こども園は幼保連携型とし、幼保ともに午後4時まで就園時間とする。保育児についてはそれ以上の時間帯の保育も可能とする。

生駒台幼稚園が俵口幼稚園と統合した場合大規模になり、その上こども園になったらさらに大規模になり望ましい方向ではありません。統合はせず、これまで通りの幼稚園とするか、保育園児を迎えてのこども園にするかは、地域住民、先生がた、教育福祉専門家などによって検討いただかなければならないと考えます。

(参考として)俵口幼稚園についての提案・・・現在の場所で認定こども園にする。

こども園は幼保連携型とし、幼保ともに午後4時まで就園時間とする。保育児についてはそれ以上の時間帯の保育も可能とする。

(備考)俵口幼稚園は教育委員会より小規模とされ、廃園の方向が示されたことから俵口小学校区の住民は、廃園は困るとの思いから、その解決策を考え、こども園化の提案に至りました。